

川崎市で子ども権利条例が施行されて20年、 『子どもの権利条約全国フォーラム』が 川崎にやってきました。

子どもの権利について考え続ける大人たち・子どもたちが話し合いを重ねた“子どもの権利条約フォーラム 2021in かわさき”は、11月6日、7日の2日間に渡って開催されました。

6日の全体会では、全国の子どもが会場とオンライン上で顔を合わせ『子どもが語る、子ども参加の今』について考え合う時間がつくられました。夢パークからも“こどもゆめ横丁”に向け準備を重ねる“YTK(横丁楽しくしよう会)”のメンバーが参加しました。

7日は、子どもが1人の人として生きるために活動する個人・団体による22の分科会。遊び、学び、虐待、多文化、障がい…など、さまざまな切り口から焦点が当てられ、3つの会場に分かれて開かれました。

ときを同じくして、夢パークの広場では“こどもゆめ横丁”が開催されました。“こどもゆめ横丁”は、名乗りをあげた子どもたちが、店構えの建設や商品づくり、当日のお客さんとのやりとり等、全て自分たちの力でつくり、行う商店街です。



子どもたちが感じ考えていることは大人には計り知れません。だからこそ、彼らが大人に伝えることを諦めず、自分自身の感じ考えていることを言葉として表現し伝えたのだらうことへ、ありがたさを感じた瞬間でもありました。



子どもの権利条例からつくられ、子どもとともにあり続けている“川崎市子ども夢パーク”を肌で感じてもらう機会として、また“こどもゆめ横丁”や学校外の多様な学びの場である“フリースペースえん”について知り、感じてもらう機会として、夢パークは2つの分科会を受け持ちました。その中で、夢パークやえんに日常的に訪れる子どもたちが日々のことを語った言葉は、参加した大人たちに大きな感銘を与えたようでした。会が終わった後、子どもに「本当に感動した。話をしてくれてありがとう」と声をかける姿がありました。

**こどもゆめ横丁
の様子は、
次のページから**

【川崎市子どもの権利に関する条例】は2001(平成13)年に全国ではじめてつくられました。子ども一人ひとりが人間として大切にされ、守られながら自分らしく生きられるように作られた、市と市民との「約束」です。

この条例をもとに、子どもの居場所・活動の拠点となるように作られた『子ども夢パーク』

ここは、子どもがだれでも自由に遊んだり、やりたいことにチャレンジできる場所です。



★ 人間として大切な子どもの権利 ★

1. 安心して生きる権利
2. ありのままの自分である権利
3. 自分を守り、守られる権利
4. 自分を豊かにし、力づけられる権利
5. 自分で決める権利
6. 参加する権利
7. 個別の必要に応じて支援を受ける権利



～ やってみたい”を大切に！ ～

「夢パのイベントで、大人しかお店をだせないのはなぜ?」「自分たちもお店をだしたい!」など子どもたちの声と「子どもが夢中に、本気になれる時間を!」との大人の思いから生まれた「こどもゆめ横丁」。

既製品をそのまま売るのではなく、必ず手を加えてその店オリジナルの商品にする必要があります。YTK を中心に値段の上限や区画、テーマなどを子どもたち自身が話し合い、決めていきます。

1 店舗だけではなく、たくさんのお店があるからこそ街ができ、お客さんが集まり、商品がたくさん売れ、儲けることができます。現金での商売のなか、そこで大事なのが「横丁税」。たくさん儲けたお店もそうでなかったお店も、儲けから一割を出して、使い方をみんなで考えようというもの。当日の横丁を盛り上げるためのアルバイトの賃金もここから出ます。「子どもの街」の醍醐味は、ここにもあります。

しかし、今回はコロナ禍での開催。みんなで集まってる会議ができないので、「みんなで決める“議会”がないなら、横丁税は集められない」ととにかく諦めるなど、YTK に子どもの意見を集約して決めていきました。

それでも子どもの「やってみたい!」は変わりません。店づくりから当日の段取り、商品づくりまですべて子どもたちがやります。途方にくれることや困難なことがたくさん出てきます。大人は、つつい「うまくいった」「失敗させたくない」と、先回りをして子どものやっていることに手出し口出しをしなくなります。でも、子どものチャレンジには失敗や遠回りはつきもの。「うまくいかねばならない」ってことはないのです。自分自身でやるからこそ「うまくいった」も「失敗した」も自分自身のものになるのではないのでしょうか。だからこそ、子どもの「やってみたい」という思いを大切に、じっくり見守っていきたいのです。(ス・ダイスケ)

子どもたちの“やってみたい”を大切にする『こどもゆめ横丁』、今年度は5月頃始動しました。まず「横丁について話そうウィーク」で、横丁というイベントをもっと面白くするためのアイデアを子どもたちから募集。そして、YTKのメンバーと一緒に面白い横丁をつくるためのアイデアをどんどん膨らませていきました。

しかし、8月にかけて、新型コロナウイルス感染者の増大と医療逼迫という社会状況に直面し、戸惑いがスタッフの間に広がる中、どうすれば夢パークに関わる人が安心して安全な場を開けるのか、何時間も話し合いを重ねました。そして、横丁についても、そもそも開催した方がよいのか、開催するなら、誰のためにどういう運営をしなければならないのか。スタッフそれぞれ持ち場も違えば意見も異なります。折り合いがつくまでに、とても長い時間がかかりました。そして、「今年もこれなら横丁をやれる」とスタッフの総意で思えたのが、今年の横丁の在り方でした。

食べ物の出店なし、入場制限、横丁会議なし。横丁当日の感染状況を思えば、制約が厳しいと感じられた方もいるかもしれません。しかし、最悪の状況を想定しつつ、必ず横丁を開催するためのぎりぎりの選択でもありました。そして、今年もたくさんの人の協力で無事に横丁を終えることができました。本当にありがとうございます。

実現したい、やってみたい、でも眠ってしまった、そういうアイデアがたくさんあるでしょう。「次こそは！」という気持ちを感じている人は多いのではないのでしょうか。「もっと面白く！」その一人一人の気持ちで、来年も面白い横丁を作り上げていってほしいです。(ス・やのちゃん)

横丁当日までの道のり



横丁楽しくしよう会 (YTK) による、 こどもゆめ横丁のふりかえり

いろいろあった準備期間

ふりかえると、今年の最初の YTK は、5 月ごろ。中学生と高校生のメンバー中心で、帰りの時間もばらばらだから、オンライン会議にも挑戦。でも、オンラインって難しい、雰囲気からないし、お菓子食べれない(笑) 会議では、横丁当日にみんなでおみこしを担いで、練り歩こうとか、アイデアが膨らんだ。けれど、8 月のデルタ株の大流行で、横丁の開催も危ぶまれる。これまでの横丁の形態とは異なる横丁(テナント横丁)になるかも? という時もあり、そこで少し気持ちが冷めるメンバーも。でも、開催のカタチが決まってからは、怒涛の準備だった。チラシづくり、説明会の運営、横丁の門作りとか、ラジオ

食べ物出店なしの 横丁どうだった?

食品やりたかった YTK のメンバーももちろんいる。けど、ないのはないなりによかったんじゃないかな。新たな可能性が開けたという声は、たくさん聞いたよ。全体的に余裕があった気もする。

でも、やっぱり食品はやりたい、っていう声もたくさんある。これまで通りのやり方にするのか、違ったやり方にするのか、どういう風に食品を復活させるかは、またみんなで話し合わないかね。

来年に向けて

YTK も今年で3年目。その活動自体を振り返ってみると、今年は思うことがいろいろ。人数の規模も大きくなってきて、組織として動けてるのかちょっと微妙だなと感じたり、YTK 始まった当初は、スタッフからどんどん仕事を奪いたい! と思ってやってきたけど、スタッフでしかできない部分もあるんだなと感じたり。でも、「時間がなくてしょうがないから」という理由で、大人が決めちゃうということは、どんどんなくしたほうが良いと思う。YTK で話したことがスタッフの会議で覆ることもあったり、今年はコロナの関係で仕方ない部分もあるけど、やっぱり子ども達で決めていけることはまだまだあるんだと思う。

そのためにも、立場関係なくいろんな人が混ぜて話し合う場になれば、もっとよくなるんじゃないかな。今は担当スタッフと子ども達だけだけど、所長や副所長、アドバイザーの西野さんとかもたまには YTK に参加してくれるとか。とにかく横丁のことをもっとたくさんの人と一緒に考えていきたいよね!

新メンバー募集! 来年5月始動予定!

興味のある人は、スタッフまで!



大人の手出し

口出しについて

YTK になってみて、意外と保護者の人が子どもたちのお店に手出し口出ししていることがあるんだなあと。「はい、次これやって、次これだよ」って、区画の外側から声かけてたけど、ちょっと勢いが怖かった(笑)

出店経験者の保護者の人が未経験の保護者の人から質問されて答えたりしてる、ってのも聞いたことがある。見守る保護者の人も色々大変なんだと思ったよ。



12・1月のイベント

≫≫クリスマスイベント 12/24 (土)

≫≫ゆるロック 12/26 (日)

ひさびさに帰ってきました！夢パークでのアコースティックライブ！ゆるロック
詳しくは、HPでご確認ください。

≫≫新春イベント 1/9 (日)

◆おはなし^{x2}パーク

ボランティアさんによる絵本の読み聞かせの時間です。
乳幼児対象。申込みは不要。
時間：11:00～ 場所：ゆるり(変更の場合もあります)
中川さん・川野さんの読み聞かせ 毎月第二火曜日
おはなしブックカフェさくら 毎月第三木曜日

◆親子でもっとあそぼう会

乳幼児親子対象。プレーパークで一緒に遊びませんか？
申込みは不要。汚れてもいい格好で来てください。
内容：12月8日(水)『クリスマスオーナメント』
1月12日(水)『染め物』
時間：10:30～13:00

◆金曜あそぼう会

外あそび初心者やよちよち歩きの乳幼児も一緒にあそびましょう。申込みは不要。
日時：12月10日・1月14日・28日(金) 10:30～

◆ゆるりであそぼう、話そう会

乳幼児親子対象。申込みは不要。
ボランティアさんによる室内遊び、読み聞かせの他、お悩みを気軽にお話しや相談ができます。
内容：12月22日(水)『ほめ方・叱り方について』
1月26日(水)『食事について』
日時：10:30～11:30/場所：ゆるり

◆スタジオ講習

スタジオを利用したい人は必須！
日時：毎月第2・4土曜 14:30～

◆ベーゴマの日

初めての子も、得意な子も、一緒にベーゴマをまわそう！
日時：12月25日・1月22日(土) 14:00～

◆おさがりバザール

我が子には小さくなった子ども服や靴を無料で譲りあげています。ご家庭にある冬物をお持ちください。
*おさがりのお持込みは、おさがりバザール期間中にお願ひします。(★奇数月：5、7、9、11、1、3月)
日時：1月19日(水)～25日(火) 9:30～18:00
場所：事務所前 ※雑貨類は受けつけていません。

◆つくりつづける会(利用者懇談会)

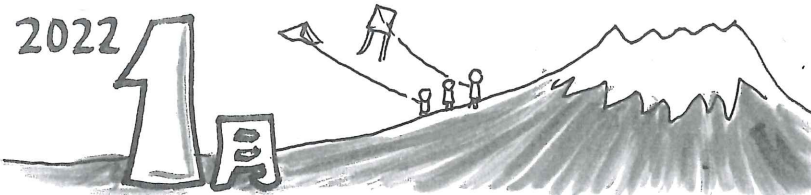
夢パークを利用する団体や個人、支援委員会、夢パーク・えんスタッフたちで近況報告や情報交換、また、夢パークの利用のことやイベントのお知らせ、夢パークでの出来事などを話しています。夢パークについて関心のある方、どなたでも気軽に参加できます。ぜひ、のぞいてみて下さい。
日時：12月18日・1月15日(土) 14:00～

開所時間：午前9時～午後9時

★入場無料

★駐車場はありません(障がい者用駐車場についてはおたずねください)

月	火	水	木	金	土	日
		1 ㊦	2	3	4 ㊦	5 ㊦
6 ㊦	7	8 ㊦ あそぼう会	9	10 金曜 あそぼう会	11 ㊦ スタジオ講習	12 ㊦
13 ㊦	14 中川さん	15 ㊦	16 さくら	17	18 ㊦ スリッパ作り会	19 ㊦
20 ㊦	21 点検日 休み	22 ㊦ ゆるりであそぼう会	23	24 クリスマス イベント 17時閉所	25 ㊦ スタジオ講習	26 ㊦ ゆるロック
27 ㊦ 17時閉所	28 点検日 休み ～1/4	≫≫クリスマスイベント 夢パ列車編！ 12月24日(土) 今年もサンタに会えるかも！ 開催日が近くなりましたら夢パーク内に掲示でお知らせします。(17時閉所)				



月	火	水	木	金	土	日
≫≫新春イベント 1月9日(日) どんど焼き、昔遊びをして、みんなで新しい年を祝いましょう！(17時閉所) 開催日が近くなりましたらHPでご確認ください。					1 休み	2 休み
3 休み	4 点検日 休み	5 ㊦	6	7	8 ㊦ スタジオ講習	9 ㊦ 新春イベント 17時閉所
10 ㊦	11 中川さん	12 ㊦ あそぼう会	13	14 金曜 あそぼう会	15 ㊦ スリッパ作り会	16 ㊦
17 ㊦	18 点検日 休み	19 ㊦	20 さくら	21	22 ㊦ スタジオ講習	23 ㊦
24 ㊦	25 17時閉所	26 ㊦ ゆるりであそぼう会	27	28 金曜 あそぼう会	29 ㊦	30 ㊦
31 ㊦						

㊦ 火と工具の日 たき火ができます。工具が使えます。

㊦ キレイにし隊 11:30から夢パーク周辺のごみ拾いをしています。

畑作業 入口近くの畑で季節に応じて苗を植えたり、収穫したり、季節の作業をします。芋ほり等の日程は、夢パーク内に掲示します。

★イベントは都合により中止または変更となることがあります。ご不明な点はスタッフまでお尋ねください。